

報道関係者各位
プレスリリース



2026年02月06日
一般社団法人日本分析機器工業会

株式会社 AIST Solutions と MaiML※1 普及推進のための連携および協力に関する協定を締結

～MaiML 普及の戦略的パートナーとして、相互に協力し国内普及等を推進～

一般社団法人日本分析機器工業会(JAIMA、東京都千代田区神田錦町 2-5-16、会長：足立正之／株式会社堀場製作所 代表取締役社長)は、国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)が設立した株式会社 AIST Solutions(AISol、茨城県つくば市梅園 1-1-1、代表取締役社長：逢坂 清治)と、2026年2月1日付で『計測分析装置の共通データフォーマット MaiML 普及ならびに実装・運用を通じた利活用の促進を図ることを目的とする連携および協力に関する協定』を締結しました。

JAIMA は、デジタル社会への対応のため、分析機器のデータフォーマットの共通化という課題に取り組み、JIS 原案作成団体として、「JIS K 0200 : 2024 計測分析装置の分析データ共通フォーマット」(2024年5月20日付公示)の制定に取り組みました。さらに、現在は、日本発の国際標準化(ISO 規格)を目指し、ISO/TC201/SC3 に新規国際規格の提案を行うための国際標準化活動を実施しています。

また、JAIMA は、国内の MaiML 普及を図るため、「共通データフォーマット対応ガイドライン」、「MaiML スキーマ定義ファイル・スキーマチェック手順書」をウェブサイト(<https://www.maiml.org>)で公開し、各種講習会の実施、JASIS のラボ DX ブースでの情報発信など MaiML の普及推進活動を実施しています。

AISol は、産総研とそのパートナーが蓄積してきた研究成果を早く確実に社会に実装していくことを目的に、2023年4月に産総研 100%出資の株式会社として設立されました。産総研と協力して MaiML を実装したデジタルプラットフォーム(DPF)の事業展開を本格化する機会に合わせ、「MaiML 普及の戦略パートナー」として、「MaiML の実装・利活用に関する取組みの支援」、「MaiML の標準化、普及啓発等の活動での協力」、「関係機関、大学、事業者等との連携および普及活動に対する協力」などで相互に協力することに合意し、このたび連携協力協定を締結しました。

JAIMAは、今後、AISolが事業展開するDPF事業を通じて MaiMLを実装したデータ駆動型研究開発が産業界で広く広まることを期待し、支援するとともに、MaiML普及活動に関する戦略パートナーとして、MaiMLの普及推進に相互に協力していくことで、我が国産業界、アカデミアにおける MaiMLの普及が進展することを期待しています。

※1 MaiML(読み：マイムル)…Measurement Analysis Instrument Markup Language の略